

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年（コース）	2 学年（全）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までに次の資質・能力を育成します。</p> <p>① 自己を知り、他者を尊重する思いやりの心を育成します。</p> <p>② 自らの進路目標を持ち、その実現に向けて努力する姿勢を育成します。</p> <p>③ 自己の住む地域を知り、地域に貢献し、リーダーとなり得る能力を育成します。</p> <p>④ 自ら学び、自ら考え判断し行動できる力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行います。</p> <p>① 人権教育、同和教育を計画的に、教科横断的に実施するとともに、日頃からグループ学習などで生徒同士の関わりを大切にします。</p> <p>② 多様な進路希望を実現するため、基礎学力の定着やキャリア教育の充実を図り、生徒が主体的に学ぶ進路学習に取り組めます。</p> <p>③ 地域と連携しながら、ひと・文化・産業などについて深く学び、他者と協働し発展的な思考を育てる活動を行います。</p> <p>④ 「わかる授業」の実践に努め、生徒の学習意欲向上と主体的・対話的で深い学びの実践活動を行います。</p>

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

「生涯を通じる健康」では、生涯の各段階における健康、労働と健康について、「健康を支える環境づくり」では、環境と健康、食品と健康、保健・医療サービスおよび医薬品の制度とその活用、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加について理解するとともに、課題を見つけ、その解決に向けて考え、表現できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。	生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、課題の解決を目指して総合的に考え、判断して説明できる。	生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。

5 評価規準と評価方法

	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	上記の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・レポート等の提出物 などから評価します。	上記の観点を踏まえ、 ・定期考査 ・レポート等の提出物 ・授業での発表 などから評価します。	上記の観点を踏まえ、 ・授業態度・取り組み ・提出物提出状況 ・出欠状況 などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）		時間	評価方法		
4	生涯を通じる健康	副教科 教材書『現代 現代 高等 保健 体育 ノート』	1. ライフステージと健康	各ライフステージの健康課題と社会からの支援について学ぶ。	9	レポート、ノート、提出物、授業態度・取り組み		
5			2. 思春期と健康	思春期における体と心の変化、思春期に起こりやすい健康問題について理解を深める。また、性意識やその男女差を知り、適切な意思決定・行動選択について考える。				
6			3. 性意識と性行動の選択	妊娠・出産に伴う健康問題について学び、健康的な妊娠・出産をするための対策と母子保健サービスの活用について考える。また、望まない妊娠の問題点を考えるとともに、適切な避妊法について学ぶ。				
7			4. 妊娠・出産と健康	結婚生活を健康に過ごすための条件について学ぶとともに、健康的な結婚生活に必要な考え方や行動について考える。				
8			5. 避妊法と人工妊娠中絶	加齢による中高年の健康リスクを低下させるための対策について学び、高齢社会に必要な社会の取り組みについて考える。				
9			6. 結婚生活と健康	(1学期末考査)			1	定期考査、提出物
10			7. 中高年期と健康	働くことの意義や働くことによって起こる健康問題について理解を深める。また労働が原因で起こるけがや病気を防止するための対策について学び、健康的な職業生活を送る上での取り組みや余暇の活用の仕方を考える。			12	レポート、ノート、提出物、授業態度・取り組み
10	8. 働くことと健康	1. 大気汚染と健康	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の健康への影響について学び、地球規模で起こっている環境問題について、人々の健康と関連づけて考える。					
10	9. 労働災害と健康	2. 水質汚染、土壌汚染と健康	環境汚染による健康被害を防ぐためのしくみについて学ぶとともに、自分たちにできる環境対策について考える。また、ごみ処理、上下水道整備、し尿処理といった環境衛生活動の重要性と現状について学ぶ。					
10	10. 健康を支える環境づくり	3. 環境と健康にかかわる対策						
10		4. ごみの処理と上下水道の整備						

11	5. 食品の安全性	食品の安全に関する今日的課題と、食品の安全性を確保するしくみについて学ぶとともに、食の安全を守るために人々に求められる役割を考える。	1	定期考査、提出物
	(2学期末考査)			
12	6. 食品衛生にかかわる活動	わが国における保健・医療制度とさまざまな保健・医療サービスについて学ぶとともに、有効な活用の仕方を考える。	6	レポート、ノート、提出物、授業態度・取り組み
	7. 保健サービスとその活用			
	8. 医療サービスとその活用			
1	9. 医薬品の制度とその活用	医薬品の種類と正しい使い方、および医薬品の安全性を守る取り組みについて学ぶとともに、有効な使用方法について考える。	1	定期考査、提出物
	(学年末考査)			
2	10. さまざまな保健活動や社会的対策	国内では人々の健康づくりのために自治体や行政機関による対策が行われており、さらに国の枠を超えた保健活動や対策がとられていることを学ぶ。また、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりや社会参加について考える。	2	レポート、ノート、提出物、授業態度・取り組み
	11. 健康に関する環境づくりと社会参加			
3				

計32時間 (55分授業)

7 課題・提出物等

- ・保健体育ノート、プリント等を記入して提出
- ・長期休業中の課題は別途指示

8 担当者からの一言

- ・「保健」は1単位のため、不要な欠席により進級困難な状況にならないように注意してください。
- ・教科書、ノートは必ず用意し、配付される資料やプリントはきちんと保管してください。